

# 平成25年度 学校関係者評価結果報告書

※ 北九州市立高須中学校 学校関係者評価委員会 : 平成25年2月6日(木)

- ・ 田中 友治 (学校評議員)
- ・ 三重野靖子 (学校評議員・主任児童員)
- ・ 瀧川 家光 (学校評議員)
- ・ 寺本 裕美 (高須市民センター館長)
- ・ 田志真粧美 (青葉市民センター館長)
- ・ 宗岡 昭弘 (高須小学校校長)
- ・ 藤井 英貴 (青葉小学校校長)
- ・ 牧野 敏之 (PTA会長)
- ・ 沼 敬子 (PTA副会長)



4月13日(土)学校運営説明会の様子。保護者の皆さんを対象に、学校の経営方針、本年度の重点課題・年間計画を説明しました。本年度の重点課題を説明する松山英夫教頭先生【上】生徒指導の取組「あじみそ運動」及び「北九州市対人スキルアッププログラム研究指定校(高須中学校区)の取組について説明する生徒指導主事村田浩一先生【下】

## 1 全体評価

- ◎ 子どもたちにとっての楽しい学校づくりに努力されている先生方に敬意を表します。
- ◎ 評価の低いところにこだわるのではなく、高いところを特性として伸ばしていくという取組が、大変良いと思います。今後に期待します。
- ◎ あいさつを積極的に行ってくれる生徒の皆さんが増えてきています。
- ◎ 色々なプログラムや講演会をを計画・実行されていて、子どもたちは、いろいろな体験ができ、本当に幸せであると思います。
- ◎ 小中連携の「人間関係づくりプログラム」は、不登校の問題を解決していくためにも有効な取組だと思います。研究を深めて、成果を出していただきたいと思います。また、家庭で不登校の子を持つ親が、人には言えず悩まれていると思います。保護者の方々への理解も進めていただきたいと思います。



## 2 学校が設定した教育目標・中長期目標・短期目標・指標等について

- ◎ 学校の教育目標が、「指標」として具体化されていて、指導の手だてが明確になっており分かりやすいです。
- ◎ 考査前の質問教室や夏の教室などを設置して、基礎的・基本的な内容の確実な定着に努めていること(指標)は、素晴らしいことです。次年度、さらに一歩進めて、補充教室の常設(質問教室・や放課後教室など)して、基礎学力が定着していない生徒のための方策(個別指導)を検討願います。



7月1日(月)第1回学校関係者評価委員会の様子【上】学校の経営方針、学校評価の取組(松山英夫教頭)、自己評価書とアンケート(松原群教務主任)、生徒指導の取組について説明を行い、学校関係者評価委員の皆さんからご意見をいただきました。

### 3 目標、指標に照らして、学校が取り組んだ自己評価項目（評価基準・教職員自己評価・保護者アンケート・生徒アンケート）について

- ◎ 学力の基礎は「体力」とであると考えます。全学年でスポーツテストを実施し、その実態に基づいて体力向上に努めていることは、素晴らしいことです。今後も体力が充分でない生徒に、体力向上の処方提示して、体力向上に努めてほしい。体力向上は、必ず学力向上につながります。
- ◎ 職員・保護者・生徒の評価が一致していくよう取り組んでほしいです。



### 4 学校が取り組んだ自己評価結果の考察、次年度改善策について

- ◎ 評価（実態）に基づいての次年度の取組が明確になっています。定着するまで根気よく継続して取り組む他、策はないと思います。家庭やPTA等との連携、小中学校の連携を一層、推進願います。
- ◎ 評価（実態）に基づいての次年度の改善策が計画に示されています。例えば、不登校生徒への対策（次年度改善策）として、「電話連絡によるのではなく、週に一度は家庭訪問を行うように努める。」と示されている。大切なことなので、ぜひ、実行してほしい。



2月7日（木）学校運営報告会の様子【上】一年間の教育活動をスライドショーで振り返りました。説明する松原群教務主任【左】その際、学校関係者評価委員の皆さんに挨拶をしていただきました【下】



### 5 本校の教育活動、その他の学校運営について

- ◎ 保護者アンケートの回収率が、平成24年度は「83.7%」でしたが、平成25年度は「84.4%」となっています。これは、高須中学校の教育活動が理解され、関心が高まった結果ではないでしょうか。
- ◎ 家庭学習の習慣が、「週7時間以上する」と「週3時間以上7時間未満」をあわせた割合が、平成24年度が「44%」でしたが、平成25年度は「41%」に低下している。実効ある改善策で、家庭学習習慣の定着に努めてほしい。家庭との連携をもとに。
- ◎ 生徒会活動としての「人生一冊プロジェクト」を、今後も継続してほしい。極めて意義ある活動です。
- ◎ 高須中学校がPTAや他の中学校と連携して取り組んでいる「中村文昭氏講演会」などの講演会活動は、とても素晴らしいと思います。若者に夢がない、対人関係をうまく築けないなど、マスコミの影響なのではないでしょうか。今後とも、講演会の活動を継続して取り組んでいただきたい。生徒の聴く態度を育てている先生方にも感謝します。
- ◎ インターネット、携帯電話やスマートフォンなどによるトラブル防止教室等を、PTAと連携して今後もぜひ充実していただき、生徒の皆さんにしっかり教えてほしい。
- ◎ 市民センターでの年末のもちつき大会（陸上部長距離）や文化祭（吹奏楽部）等、地域行事（合唱部）への参加要請にも積極的に参加いただき、ありがたく思っております。次年度もよろしくお祈りします。
- ◎ 校長通信「ジャガイモ」をいつも楽しみに読ませていただいております。今後とも、積極的な情報発信をお願いします。

### 次年度に向けて

- ◎ 高須中学校、高須小学校、青葉小学校、3校による「義務教育9ヶ年を見通した人間関係づくりプログラムづくり」の研究開発を柱とした小中連携の一層の推進、被災地への支援活動「人生一冊プロジェクト」に、積極的に取り組んで参ります。
- ◎ 学力の向上（補充学習・家庭学習の習慣化）や体力の向上、講演会活動の一層の充実を図ります。